

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

令和6年3月15日
教育委員会事務局
生涯学習文化財課

国登録有形文化財（建造物）に係る答申について

国の文化審議会（会長 さとう まこと 佐藤 信）は、令和6年3月15日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、横浜市内に所在する「旧川本家住宅主屋」ほか2件を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

今回の答申のとおり告示されると、市内の国登録有形文化財（建造物）は46件となります。

■旧川本家住宅主屋 きゅうかわもとけいゆうたくおもや

所在地 横浜市西区西戸部町

所有者 京浜急行電鉄株式会社

建築年代 昭和8年

基準 登録有形文化財登録基準2号該当

（造形の規範となっているもの）

特徴 横浜港北西の丘陵に位置し、京浜電気鉄道の隧道開削に伴い新築した平屋建の主屋。

内部は廊下や部屋境の棚の配置などで各室の独立性を高めた近代的な平面。寄木張床の応接室を含め外観和風で統一し、繊細な意匠の建具や随所に銘木を用いた良質な近代和風住宅。



主屋（外観）



主屋（洋間）

■旧川本家住宅内蔵 きゅうかわもとけいゆうたくうちくら

所在地 横浜市西区西戸部町

所有者 京浜急行電鉄株式会社

建築年代 明治32年／昭和8年移築

基準 登録有形文化財登録基準1号該当

（国土の歴史的景観に寄与しているもの）



内蔵（外観）

特徴 主屋北西に接続する家財蔵。
にかいだ できりづまづくりつまいりさんがわらぶき
二階建切妻造妻入棧瓦葺で南北棟の小規模な土蔵で、
外壁は漆喰塗仕上とし、軒に鉢巻を廻す。北面に二箇所
の窓を開け、ひさしもちおくり庇持送には繰形を付す。
各階一室の板敷。隧道開削以前から存在しつつ、外観
重厚ながら主屋と良く調和した土蔵。



内蔵（小屋組）

■きゅうかわもとけじゅうたくおもてもん いしがき旧川本家住宅表門及び石垣

所在地 横浜市西区西戸部町
所有者 京浜急行電鉄株式会社
建築年代 昭和8年頃
基準 登録有形文化財登録基準1号該当
(国土の歴史的景観に寄与しているもの)

特徴 主屋玄関東側に配した表門と、敷地東面及び北面を
矩折れに区画する石垣。緩やかな石段上に建つ表門は、
間口一間切妻造平入棧瓦葺袖塀付きで屋根に起りを付
す。石垣は凝灰岩のブラフ積で上部に低い石塀を載せ
る。いずれも丁寧なつくりで屋敷の表構えを整える。



表門



石垣

お問合せ先

教育委員会事務局生涯学習文化財課長 小野寺 紀子 Tel : 045-671-3236

※本件記者発表は、国（文化庁）及び神奈川県においても同時に行われます。